

『筑後信用金庫 SDG s 宣言』の公表について

SDG s「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」は2015年国連サミットにおいてすべての加盟国が合意し採択された、「誰一人取り残さない（No one will be left behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。貧困、飢餓、保健医療や環境保護など17のゴールと169のターゲットから構成され、2030年を年限としてこの目標達成に向けて努力することとされています。

当金庫では、「地域金融機関としての公共性に鑑み、経済振興のため金融の円滑化をはかり、以って郷土の繁栄に貢献する」ことを経営理念とし、1924年の創業以来、「健全経営」「信頼される金庫」「地域との共存共栄」「働き甲斐のある職場」の経営方針の下、今日まで中小企業および地域住民のニーズや課題に応じ、融資等の金融サービスまたは各種課題解決手段等の提供を行うことで、中小企業の成長や地域の活性化に取り組み、2024年には100周年を迎えます。

こうした当金庫の「経営理念」は、「SDGs」の取組みと共通するものであり、今後100周年を迎えるのを契機に、「地域と歩んで100周年心でつながる未来へ」をスローガンに、これまで以上に持続可能な地域社会の実現に努めていくためにも、今般「SDG s 宣言」を制定し、金庫職員全員で具体的な活動に取り組んでいくことといたします。

筑後信用金庫 SDGs宣言

筑後信用金庫は、1924年11月、地域の商工業者等の有志により設立された「久留米庶民金庫」を前身としております。以来、今日まで、中小企業および地域住民のニーズや課題に応じ、融資等の金融サービスまたは各種課題解決手段等の提供を行うことで、中小企業の成長や地域の活性化に取り組み、2024年には100周年を迎えます。当金庫が掲げる「経営理念」は、「SDGs」の取組みと共通するものであり、今後100周年を迎えるのを契機に、「地域と歩んで100周年 心でつながる未来へ」をスローガンに、これまで以上に持続可能な地域社会の実現に努めてまいります。

2022年2月18日
筑後信用金庫
理事長 江口 和規

【筑後信用金庫の経営理念】

・基本方針

当金庫は地域金融機関としての公共性に鑑み、経済振興のため金融の円滑をはかり、以って郷土の繁栄に貢献する。

・経営方針

1. 健全経営
2. 信頼される金庫
3. 地域との共存共栄
4. 働き甲斐のある職場

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



がんばるあなたを応援したい
筑後信用金庫

Chikushin Bank

地域経済

●信用金庫の特性を生かし、お客様のお役に立つ金融サービスを通じて、地域経済の活性化に貢献します。

- ・ 資金繰り・経営改善支援、本業支援活動を徹底
- ・ 各自治体・商工団体と連携した創業支援事業の実施
- ・ 合同商談会の開催等、ビジネスマッチングへの支援
- ・ 自治体・大学・商工会議所などと連携した事業の開催



地域社会

●地域社会のお役に立つ活動に取り組み、地域の豊かな暮らしのお手伝いをします。

- ・ 地域行事への積極的な参加
- ・ スポーツ大会・文化的活動・子育て世帯、学生を支援する取組
- ・ 自然災害への対応
- ・ マネー・ローンダリング等対策や振り込め詐欺撲滅



人材育成

●地域の未来を担う人材の育成に取り組みます。

- ・ 職員向け研修の充実のため、外部派遣研修に加え、eラーニングの活用
- ・ ノー残業デーの実施・有給休暇取得や職員の健康増進への取組
- ・ 女性職員の管理職登用・仕事と家庭（家事・育児・介護など）の両立支援を行うための体制整備
- ・ 認知症サポーター養成講座を実施し、役職員全員が講座を受講



地域環境

●環境に配慮した金庫経営に取り組みます。

- ・ 会議・研修のオンライン化によるペーパー使用量の削減
- ・ クールビズ・ウォームビズの推進、省エネ機器の導入等による、電力使用量の削減
- ・ 植物油を使用した印刷物やFSC森林認証取得のカーボンオフセット通帳の採用
- ・ エコ・省エネルギーローン（リフォーム・マイカー）の導入
- ・ 取引先向け配布用ノベルティの環境配慮型への入れ替え

